

この本が、世界に存在することに



[この本が、世界に存在することに 下载链接1](#)

著者:角田 光代

出版者:メディアファクトリー

出版时间:2005-5

装帧:单行本

isbn:9784840112598

第132回直木賞受賞作家角田光代が、本への愛情をこめて描く新境地！泣きたくなるほどいとおしい、ふつうの人々の“本をめぐる物語”が、あなたをやさしく包みます。心にしみいる九つの短編を収録。

学生時代に手放した本と、異国の古本屋でめぐりあう……。--「旅する本」

子どもの頃のぼくにとって、ここは世界への扉だった。--「ミツザワ書店」

おばあちゃんが欲しい本を探し、私は今日も本屋をめぐる。--「さがしもの」

人に本を贈るのはむずかしい。とくに、好きな人には。--「初バレンタイン」

著者が自身の本とのつきあいを振り返る書下ろしあとがきエッセイ--「交際履歴」

第132回直木賞受賞作家最新短編集。本への愛情をこめて角田光代が描く新境地！泣きたくなるほどいとおしい、ふつうの人々の“本をめぐる物語”が、あなたをやさしく包みます。心にしみいる九つの短編を収録。

作者介绍:

角田光代

1967（昭和42）年神奈川県生れ。魚座。早稲田大学第一文学部卒業。1990（平成2）年「幸福な遊戯」で海燕新人文学賞を受賞しデビュー。1996年『まどろむ夜のUFO』で野間文芸新人賞、2005年『対岸の彼女』で直木賞、2006年「ロック母」で川端康成文学賞、2007年『八日目の蝉』で中央公論文芸賞を受賞。著書に『キッドナップ・ツアー』『さがしもの』『三月の招待状』『森に眠る魚』『くまちゃん』など多数。

目录:

[この本が、世界に存在することに](#) [下载链接1](#)

标签

角田光代

短篇小说

日本語

日本文学

日本

文学

小说

2016年已读记录

评论

和書有關的溫情小故事，構思比較精巧，愛書人讀著會有共鳴，缺點是格局略小，而且最後一定會溫情治癒，不免流於雞湯。但這碗雞湯類似東野圭吾那本「解憂雜貨店」，也是可以一讀的。

「もしこの本が世界に存在しなかったら 世界はなんにもかわっちゃいないんだろう
けれど 私がこの本に出会えなかったら
確実に私の見る世界には一色足りないまんまだろう
だからこの本があつてよかった」

この本が、世界に存在することに [下载链接1](#)

书评

この本が、世界に存在することに [下载链接1](#)